

柏崎港から初めて原木の輸出事業がスタート

近年物流量が減少している柏崎港で、新たな取扱貨物としてスギ丸太の中国向けの輸出事業が 8 月 29 日（木曜日）からスタートしました。

この事業は、昨年度、新潟西港でバルク船※による輸出事業を始めた新潟県森林組合連合会が企画し、県産材の販路拡大のために行う事業です。

※バルク船とは、バラ積みで貨物を運ぶ船のことです。

11 月下旬には、柏崎港から初めて原木が輸出されます。

1 事業主体

新潟県森林組合連合会（新潟市西区）

2 スギ丸太の集荷の期間

令和 6（2024）年 8 月 29 日（木曜日）から
11 月中旬まで（予定）

3 スギ丸太を集積する場所

柏崎港 中浜 2 号埠頭

※バリケードを設置し、野積みしています。



9 月 17 日時点の集荷木材の状況

4 集積するスギ丸太の量と産地

約 3,200 m³（約 10,000 本）

柏崎、上越、中越、魚沼地域を中心に
一部長野県などで育成されたもの



柏崎港 中浜 2 号埠頭の木材集荷位置
のところ

5 輸出時期と輸出先

輸出時期：令和 6（2024）年 11 月下旬

輸出先：中国 太倉港（タイツァウ・コウ）

6 新潟県森林組合連合会の目標

新潟西港への陸路輸送コストの低減を
図るため、木材の産地に近い柏崎港を
利用することで輸出港の 2 拠点化を目指しています。